

職業能力評価基準(軽金属製品製造業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安	役職イメージ
レベル 4	<p>【マネジメント系】 大規模もしくは業績影響度が大きい組織の責任者として、広範囲かつ統合的な判断及び意思決定を行い、企業利益を先導・創造する業務を遂行するために必要な能力水準。</p> <p>【スペシャリスト系】 極めて高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。</p>	「部長」 「工場長」
レベル 3	<p>【マネジメント系】 中小規模もしくは業績影響度が通常程度の組織の責任者として、上位方針を踏まえて管理運営、計画作成、業務遂行、問題解決等を行い、企業利益を創出する業務を遂行するために必要な能力水準。</p> <p>【スペシャリスト系】 高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。 (※技能検定1級程度の能力)</p>	「課長」
レベル 2	<p>グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。 (※技能検定2級程度の能力)</p>	「班長」 「主任」
レベル 1	<p>担当者として、上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準。 (※技能検定3級程度の能力)</p>	「一般作業者」

軽金属製品製造業におけるキャリア形成の例

